

環境指標一覧(2024年1月現在)

環境指標		年度	値	単位	
①県内における平均気温の変化(5年移動平均)		2018-2022 (平均)	16.9	℃	
②県内における最高気温・最低気温の変化 (5年移動平均)	最高気温	2018-2022 (平均)	36.1	℃	
	最低気温		-1.0		
③県内における真夏日・猛暑日・ 熱帯夜の日数の推移 (5年移動平均)	真夏日	2018-2022 (平均)	横浜	日	
			海老名		54.4
			辻堂		60.4
			小田原		47.8
			三浦		54.4
	猛暑日		横浜		3.8
			海老名		8
			辻堂		0.8
			小田原		4.2
			三浦		0.2
	熱帯夜		横浜		34.2
			海老名		18.6
			辻堂		30.6
			小田原		15.2
			三浦		25.6
④県内の温室効果ガス排出量	全体	2020 (速報値)	5,971	万t-CO ₂	
	二酸化炭素		全体		5,591
			エネルギー転換部門		864
			産業部門		1,743
			業務部門		835
			家庭部門		1,178
			運輸部門		854
			廃棄物部門		117
	その他ガス		380		
⑤県内のエネルギー消費量	全体	2020 (速報値)	676	PJ	
	エネルギー転換部門		130		
	産業部門		213		
	業務部門		81		
	家庭部門		132		
	運輸部門		119		
⑥県内の年間電力消費量の削減率(2010年度比)		2021	△9.7	%	
資源循環	①一般廃棄物(排出量・再生利用率・ 最終処分量)	2021	排出量	275.7	万トン
			再生利用率	24.7	%
			最終処分量	22.2	万トン
	②一般廃棄物(県民一人一日当たりの排出量)		2021	818	g/人・日
	③産業廃棄物(排出量・再生利用率・ 最終処分量)	2021	排出量	1,714	万トン
			再生利用率	39	%
最終処分量			26	万トン	

地球温暖化

資源循環

環境指標		年度	値	単位	
自然環境	①地域制緑地・トラスト緑地・都市公園の面積	地域制緑地面積	2022	141,219	ha
		トラスト緑地面積	2022	116.20	
		都市公園面積	2021	5,322	
	②里地里山活動協定の認定面積	2022	442,093	m ²	
	③野生生物(ニホンジカ、ニホンザル、イノシシ)による農作物被害額	ニホンジカ	2022	23,691	千円
ニホンザル		2,158			
イノシシ		26,846			
④アライグマの捕獲効率(※1)	2022	0.66	—		
⑤丹沢山地における林床植生の状況(植被率が増加した調査地点の割合)(※2)	2022	0	%		
生活環境	①二酸化窒素環境基準達成率	2022	100	%	
	②浮遊粒子状物質環境基準達成率	2022	100	%	
	③光化学スモッグ注意報発令日数	2022	4	日	
	④PM2.5高濃度予報発令日数	2022	0	日	
	⑤公共用水域の類型指定水域における環境基準の達成率	河川	2022	93.3	%
		湖沼		80.0	
		海域		69.2	
	⑥相模湖・津久井湖におけるアオコの発生状況(※3)	相模湖	2022	0.37	細胞数/ml
		津久井湖		110	
	⑦東京湾における赤潮の発生状況(※4)	2022	1	件	
	⑧地下水定点調査における環境基準達成状況	2022	96.2	%	
	⑨特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に基づく届出排出量と届出外排出量(推計値)を合わせた全体の化学物質排出量	2021	12,065	トン	
	⑩騒音・振動・悪臭に関する苦情件数	騒音	2021	1,576	件
		振動		407	
悪臭		808			
⑪道路交通騒音に関する環境基準達成状況	2021	89.0	%		
⑫県内における真夏日・猛暑日・熱帯夜の日数の推移(5年移動平均)	真夏日	横浜	2018-2022 (平均)	54.4	日
		海老名		60.4	
		辻堂		47.8	
		小田原		54.4	
		三浦		47.0	
	猛暑日	横浜		3.8	
		海老名		8	
		辻堂		0.8	
		小田原		4.2	
		三浦		0.2	
	熱帯夜	横浜		34.2	
		海老名		18.6	
辻堂		30.6			
小田原		15.2			
三浦		25.6			
⑬都市公園の箇所数と総面積	箇所数	2021	7,723	箇所	
	面積		5,322	ha	
⑭漁業協同組合が作成する資源管理計画数	2022	29	計画		

環境指標		年度	値	単位	
人材・技術	①ISO14001及びエコアクション21などの環境マネジメントシステム認証取得事業所数	2022	1,320	事業所	
	②「環境基本計画」、「地球温暖化対策地方公共団体実行計画」の策定市町村数	環境基本計画	28	市町村	
		地球温暖化対策地方公共団体実行計画」(事務事業編)	32		
		地球温暖化対策地方公共団体実行計画」(区域施策編)	18		
	③地球温暖化防止活動推進員が実施する環境学習や、市町村を通じて把握できる、こどもエコクラブ等の環境学習への参加者数	2022	127,878	人	
	④家庭のエネルギー消費量・水道水使用量	エネルギー消費量	2020 (速報値)	31.3	GJ/世帯
		水道水使用量	2021	188	m ³ /世帯
⑤産学公技術連携データベースにおける環境関連技術で連携可能とした企業の登録件数	2022	116	件		
⑥スギ・ヒノキ花粉の飛散量の変化(※5)	2020	16.0	個/m ³		

- ※1 延べわな設置数(わな設置数×設置晩数)100当たりの捕獲数です。
 ※2 複数の調査地点において、現況と5年前の植被率(植物で覆われている地表の割合)を比較し、10%以上の増加が認められる調査地点数の割合を表したものです。
 ※3 アオコの発生状況は群体数の最高値です。
 ※4 件数は神奈川県域における調査船による監視及び通報に基づくものであり、発生した全ての赤潮を把握したものではありません。
 ※5 1時間値の月間平均濃度です。

注1) 以下の指標については、年間(1月～12月)のデータとなっています。

<地球温暖化>

- ①県内における平均気温の変化(5年移動平均)
 ②県内における最高気温・最低気温の変化(5年移動平均)
 ③県内における真夏日・猛暑日・熱帯夜の日数の推移(5年移動平均)

<自然環境>

- ④アライグマの捕獲効率

<生活環境>

- ⑫県内における真夏日・猛暑日・熱帯夜の日数の推移(5年移動平均)

注2) 以下の指標については、2月～5月の期間における平均のデータとなっています。

<人材・技術>

- ⑥スギ・ヒノキ花粉の飛散量の変化